

学校だより



「懐かしい風景と共に」

きょうとう こまや おきむ
教頭 小間屋 統

えびな支援学校より新任教頭として着任した小間屋です。1か月が経ち、少し慣れてきた今日この頃です。秦野は、もの心がつく前から青年期に弘済学園で勤務していたころまで暮らしていたので、故郷に戻ってきたような喜びがあります。また、丹沢の山々や富士山の雄大な景色を、校舎から見られることも幸せに感じています。

遠い昔になりますが、幼稚園のクラスメイトに、いつもニコニコでいい笑顔の男の子がいました。その後、彼が養護学校に行ったことを知り、どんな教育を受けてきたのか興味津々で、この世界へ入りました。きらきらした子どもたちの瞳、お互いに通じ合ったときの感動、心がブルルッと震えることばかりでした。初めは寄り道のつもりでしたが、すっかり虜になり、この仕事でいこう！と決め、今日に至ります。

保護者の皆様、地域の方々、全職員とともに、子どもたちの成長する姿を楽しみにしながら、心を込めて関わらせていただきます。どうぞよろしくお願いいいたします。



B

B課程は、新型コロナウイルス感染防止対策として、今年度も4月5月は学校に登校せずに、病棟での授業を行っています。児童生徒たちは病棟での授業に慣れた様子で、日々の学習に励んでいます。

病棟や学校の周囲を散歩した際には、桜の木の下で写真を撮りました。散歩中、外の空気を感している児童生徒の表情は晴れ晴れとしていて、一人ひとりが、外に出る喜びを味わっている様子でした。



D

D弘済の学習の基本は、毎日の個別学習とグループ学習（音楽、図工、体育、生活）です。個別学習では、太田ステージ評価に基づいた認知学習課題と将来の職業スキルの向上につながる自立課題に取り組んでいます。グループ学習は、個別学習で学び育てている力を実際に使って、さまざまな課題にチャレンジしています。今回は、グループ学習の授業「ぴよぴよ大冒険 誰かひよこちゃんを助けて〜」で使っている教材を紹介しつづけます。段ボールと紙粘土で作ったティラノザウルスの顔です。草むらの中からとびだしています。目の前にはかわいいひよこちゃん。誰か助けてあげて〜。ひよこちゃんはペットボトルにくっついていて、棒の先に付いた箱をペットボトルにうまくかぶせると、キャップがひっかかって持ち上げることが出来ます。棒が長くて思うより難しいです。ザウルス君は大きな声で鳴くのでなかなかそばに寄れず



こわごわ手をのばしたり、ひよこちゃんを助けようと真剣な顔で棒を動かしたり、子どもたちの反応はさまざまです。この教材は、棒の先の箱をペットボトルの頭にかぶせて押し付けなければならないので、注視する力、自と手を協働させる力、上下左右の空間をイメージする力、指先や腕の力のコントロールなどが必要です。このようにグループ学習は個別学習で育ててきた力を実際の活動の中で発揮する場になっています。子どもたちの好奇心いっぱい、きらきらした笑顔が見られることを期待しながら、教材づくりに励んでいる今日この頃です。

E



E高等部では、今年度から週2回作業班での活動を行っています。生徒たちは学年縦割りで「農園芸班」「ハンドメイド班」「木工班」「環境整備班」に分かれ、将来仕事をするための学習をしています。

4月30日金曜日、1年生の作業班見学会が行われました。先輩たちが一生懸命に仕事をしている姿を真剣に見学していました。まずは朝礼からです。「おあしす」（おはようございます・ありがとうございます）を力強く練習する姿を見て少し緊張感が走りました。その後、班に分かれてテキパキと仕事を始める2・3年生。自分たちで道具を準備し、協力しあって仕事をする姿はとても頼もしく感じられました。

教室に帰ってから1年生の感想を聞くと、「自分たちが育てた野菜が給食に出るなんてすごい！やってみてみたい！」や「ハンドメイドのかご作りをやってみてみたい」など様々な意見があがりました。また、各クラスで清掃の練習を行い、見慣れない「スクイージー」という窓ふきの道具を使って丁寧に窓を拭く練習をしました。先輩たちの姿を見た後だけに、真剣に取り組んでいました。教室の窓がとてもきれいになって「すごい！ぴかぴか！」と、とても嬉しそうな表情がみられました。

5月から1年生も作業班に参加しています。はじめは不安や緊張があるかもしれませんが、徐々に慣れ、先輩や友だちと協力しあいながら仕事に取り組んでほしいと思います。

